

木質バイオマス発電への支援の強化

政策提言先 農林水産省、林野庁

政策提言の要旨

木質バイオマス発電は、成熟しつつある森林資源を有効に活用でき、エネルギーの地産地消を進めるとともに、林業現場や運送業など中山間地域における安定した雇用の場の確保など、地域経済にとって波及効果の大きい重要な取り組みです。

また、国のエネルギー政策の方向性に沿った、再生可能エネルギーの拡大に寄与するものであり、こうした地方の森林資源を活かし、地域に根ざした産業を育成していくために、以下の内容について提言します。

【高知県の実施計画】

- ◇未利用森林資源のみの専焼による木質バイオマス発電施設の整備（3施設）
- ◇木質バイオマスの安定供給体制づくりの整備の促進

【政策提言の具体的内容】

- ◆木質バイオマス発電施設とその関連施設への支援

【政策提言の理由】

木質バイオマス発電は、国の試算でも示されているように、森林資源の活用とともに林業現場における雇用の場の確保や、木材の運送・燃料への加工など、中山間地域にとっての経済波及効果は大きく、また、近年大きく下がってきている木材価格の下支えや、森林所有者や林業関係者など多くの方が関係するなど、非常にインパクトの大きい重要な取り組みです。

本県においても、本年7月からの電力の固定価格買取制度を活用した木質バイオマス発電への期待が大きく、平成26年度末の事業開始に向けて、具体的な事業計画の検討や燃料調達などについて関係者と協議を行っています。

しかし、森林由来の専焼による木質バイオマス発電は、全国的にも始まったばかりで事例が少なく、施設管理から木質燃料の調達に至るまでの経営リスクを抱えて取り組むこととなり、他の再生可能エネルギーに比べて進んでいない状況です。

こうした状況を打開して木質バイオマス発電を推進することは、国のエネルギー政策の方向性に沿った、再生可能エネルギーの拡大に寄与するものであり、地方の森林資源を最大限に活かし、地域に根ざし自立した産業に育成していくために、多額の初期投資の低減に必要な、施設整備に関する予算の確保することが必要となっています。

【高知県担当課室】 林業振興・環境部 木材産業課